

北星公民館

地域フォーラム

今年は、

平成29年10月24日（火）13：30～15：00に、
北星公民館 1階 講座室で、7名の方の参加をいただいて

開催いたしました。

フォーラムの内容

(1)公民館からの報告

- 利用状況について
- 事業活動状況について
- 今後の事業計画について
- 公民館利用者アンケートの結果について

(2)公民館事業活動への意見交換・提言

アンケートに多く寄せられた御意見について

～机・椅子の整備について～

- 机・椅子の更新に関する御要望が 18 件あった。老朽化しており、更新が必要だということは十分認識している。要求を続けているが予算がつかない現状で、破損・使用不能な物については交換・補充の必要がある。他の部局も含めて余剰品があれば譲り受けているが、よそで使用しなくなったものであり、当然、古い、重いなど難点はある。御理解いただけるとありがたい。

～駐車場について～

- 駐車場に関する御要望が 13件あった。十分なスペースがなく、御不便をおかけしている。多目的広場の縁石切り下げについてだが、あそこはグランドゴルフなど野外活動に御利用いただくためのスペースであり、御利用が無い場合には駐車していただいて構いませんよというスタンス。現在は段差が気にならない方だけが停めている状況だが、それでも雪の降り始めや春先にはタイヤで地面がえぐられてしまう。縁石切り下げにより駐車台数が増加すれば今以上に本来の使用目的に支障がでることになるので、切り下げをする考え

はない。

- 隣の北門児童センターの駐車場については、センターを利用される主に小さなお子さん連れのお母さまたちのためのもの。「同じ市の施設だからいいのでは」という考えもあるかとは思いますが、設置目的、利用対象者が違うということ、児童センターとしても利用者の拡大に向けて利便性を確保しなければならないということ、また、事業の開始・終了時間も異なるため、今日もそうだが10時前には空いていたとしても、11時前には満車になっているということが多々あるで、御理解いただきたい。

意見交換で発言された主な内容

～情報発信・周知について～

参加者

- （利用者アンケートの意見で）指摘・要望が多いが、利用者に対してどのように周知するのか。
- 駐車場に関する意見が多いが、これについて何か掲示はしているのか。
- だんだん会員が減ってきており減らない方法はないのかと思っている、公民館の方でPRをしていたら助かる。
- 高齢化だし、近くを見回しても少し若い方はみんな働いている。たまたま休日が練習日だったので入会してくれた若い方もいるが、いい講座がこんなにいっぱいあっても働いていけば休みの日にうまくあうかわからないので、これからますます難しい。
- お仕事しながら、せっかくの休みの日を利用してという若い方もいらっしゃるから、すごいなあと思う。



公民館

- このフォーラムの開催結果については市のホームページで概要を報告しているが、アンケート結果については各サークルに周知はしていない。

※ フォーラム開催後、アンケートの集計結果と御意見の多かった「机・椅子の整備」及び「駐車場」についてのフォーラムでの説明概要を館内に掲示し、コピーを情報コーナーに用意しました。

- 駐車場が満車の場合、多目的広場を使用していなければ駐車していただくことも可能だという掲示はしている。
- 会員募集のための掲示スペースがあり、いくつかのサークルはチラシを張っている。年2回公民館だよりを作っており、館周辺の町内会には送っているがその外側の町内会には送っていない。百寿大学、女性学級ひまわりの案内は公民館だよりに掲載しているがすべ

てのサークルを入れると膨大な量になってしまう。いい方法があれば教えてほしい。

～講座・地域連携について～

参加者

- この地域にも自慢できるものがあるが住んでいる人が知らない。アイヌ記念館、知里幸恵など、博物館で勉強会というのは見たことがあるが、もう少し掘り下げる勉強会があっても面白い。地域に愛着が持てる。
- 歴史の勉強となると、大学が近いので授業の一環としてやってもらうのが手っ取り早いですが、そうすると一般の人が入りづらい。いかに一般の人に来てもらえるかが大事。
- 地域に住んでいる方がボランティアで教える、お爺さんが孫に教えるような講座を活発にすることが必要。先生も生徒も地元で賄う。これからの公民館はお互いに学ぶ、足りないところを教えてもらう、そういうシステムで進めていくのがいい。
- 女性学級ひまわりは自主運営で役員が計画を立てているが限界がある。公民館にもっと協力してほしい。市民公開講座を開いても参加人数が少ないので講座を決めるとき違う立場の人の意見も聞きたい。
- 地域の高齢者が集えるサロンがたくさんあるといろいろ利点がある。地区社協、市民委と連携して公民館を使う場合、公民館と共催という形はとれないか。

公民館

- この地区は師団設置以来の歴史があり、勉強のし甲斐がある。歴史に詳しい方を呼んで勉強会というのは可能だが、興味のある人がどれだけいるか。
- 教育大学に出前講座をやってもらってはどうかという御意見もいただいている。旭川大学、旭川医科大学には出前講座のメニューがあり、百寿大学、女性学級でも年に数回お願いしているが、教育大学はメニュー化された出前講座がない。教育大学の先生にお願いする場合、事業化するにあたって難しい面はあるが、せっかく近くにあるのだからもっと大学の力を借りて、大学にも地域連携としてこの館を使って何かやってもらえるようなことも考えていきたい。
- 子ども食堂などは公民館事業に合致したので共催事業とした。地域に根差したものであれば相談いただければ対応できるものもある。他の館では社協、市民委との共催事業もある。お爺さんと孫ではないが、町内会でたとえば子供たちに習字を教えたい、手芸をさせたいということでうちの館のサークルさんが先生役となるようなものであれば公民館クラブ事業となる。

～施設利用・無料開放について～

参加者

- 利用者が毎年 2,000 人くらいずつ減っている。高齢化のせいだと思うが利用者の平均年齢は分かるのか。
- 電話で予約できないので使いづらい。無料開放を設けて知ってもらうことも必要。
- 地域の集会で川端からここまで来るといのは可能性が薄い。川端地区には 2 つ会館があり町内会が資金を出して維持している。以前、地区センターで地区市民委の総会をやったが、遠いため評判が悪かった。この近くの町内会は大いに使ったらいいと思うが、わざわざ川端から、会館があるのにここまで来るといのは難しい。サークルとしては使い勝手が良くて助かっている。
- 将来的に、包括支援センターの機能を市の施設に入れることはできないか。
- 無料開放を和室以外にも設定してはどうか。
- 場所の開放は魅力的だが、そこで何をするのか、ニーズがないと人は集まらない。自然発生的に人が集まるわけではなく、地域にどんなニーズがあるか考えようとして企画しないと。ただ場所があります、来て下さいでは最初は人が集まっても続かない。



公民館

- 利用者の平均年齢は分からないが若い人は少ない。地域の方々の利用が増えればと思うが、登録団体の申込で先に埋まってしまうということもある。お酒を伴う会議は御遠慮いただいているので使い勝手が悪い面もある。
- 現在、第 1、第 3 月曜日の午前午後は 2 階和室を無料開放している。多目的広場も料金は取っていない。
- 現在、全市的に施設の管理計画を見直している。人口減、税収減の中、今ある施設をそのまま維持はできない。近隣の同じような施設は統合されていくと考えられる。その際、利便性を考慮して包括支援センターが入ることもあり得る。利用実態、要望などがあれば考慮されると思う。

～結び～

貴重な御意見をたくさんいただきありがとうございました。御意見を踏まえ、より良い公民館運営に努めてまいります。普段思ったこと、要望、お叱りなど、お気軽におっしゃっていただけるといい風通しのいい公民館にしたいと思っておりますので、これからも御協力をよろしくお願いいたします。

